

特別展

没後35年

留学・従軍・戦後期を中心に

# 宮本三郎展

〔展示室2・3〕

(12月1日より一部展示替えします)



▲ 展示室2 展示「三郎、パンパシフィック戦争中の従軍（一九四三年）」 油彩 横断歩道交差点の戦時風景（昭和初期）  
▲ 展示室3 展示「一九三三年 従軍 小松市立宮本三郎美術館蔵」

2009年10月24日(土)～2010年1月11日(月・祝)

同時開催 小磯良平作品選Ⅳ(展示室1) 特別展示の《美智子妃》を含む小磯作品約40点を紹介

- 休 館 日 / 毎週月曜日(ただし11月23日、1月11日は開館)、11月24日、12月28日～1月4日
- 開館時間 / 午前10時～午後5時まで(金曜日は午後6時まで)、入館は閉館の30分前まで
- 入 館 料 / 一般800(600)円、高大生600(400)円、小中生400(200)円 ※ ( )内は30名様以上の団体  
神戸市老人福祉手帳(すこやかカード)持参の方:400円 のびのび/パスポート持参の方:無料  
※ 11月14日(土)・15日(日)は関西文化の日で入館無料

- 主 催 / 神戸市立小磯記念美術館、朝日新聞社
- 後 援 / NHK神戸放送局 ● 特別協力 / 豊田谷美術館、小松市立宮本三郎美術館

## 神戸市立小磯記念美術館

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5-7 TEL.078-857-5880 <http://www.city.kobe.lg.jp/culture/culture/institution/koisogallery/>



CITY of Design  
KOBE

Excellence in  
Education, Research and  
Culture Organization  
Member of the (AECU)  
London Link Network  
since 2008

近代日本美術史に大きな足跡を残した洋画家・宮本三郎(1905-74)の、戦前・戦中・戦後の代表作品を集めた特別展を開催します。

現在の石川県小松市に生まれた宮本三郎は、15歳で画家になることを強く決意し、郷里を leaving して兄の住む神戸に移ります。さらにその2年後には上京し、川端画学校で藤島武二らに師事します。その後、安井曾太郎や前田寛治にも学び、二科展などに出品を続ける中、画家としての芽を出していきました。

1938(昭和13)年、宮本三郎はさらなる絵画研鑽のためフランスに渡ります。アカデミー・ランソンにも籍を置いたこの時の滞在・留学は、世界大戦の勃発により1年程で終わりましたが、そこで新たな刺激を得、日本人として独自の油彩画を確立させることを一層強く意識しました。

そして1940(昭和15)年には、軍部の要請により小磯良平とともに初めて戦地へ赴きます。その後も宮本は記録画制作の命を受けて完成度の高い大作を次々と制作し、帝国芸術院賞を受賞するなど、画壇における地位を決定的なものとなりました。これらの戦争画については絵画的に優れたものも多く、現在、美術史的な視点からの見直し作業が進められています。

また、戦後の宮本は、田村孝之介とともに第二紀会(現・二紀会)を創設し、その中心的存在として活躍します。さらに金沢美術工芸専門学校(現・金沢美術工芸大学)や多摩美術大学で教鞭を執ったり、日本美術家連盟の理事長を務めるなど、日本の洋画界の復興に尽力しました。

宮本三郎の没後35年を機にゆかりの地の一つ・神戸で開催する本展では、戦争をはさむ1930年代から1950年代半ばまでの作品にスポットを当てます。宮本芸術が大きく展開したこの時期は、画家として上り坂の年齢期にあたり、時代の激変や小磯良平ら画壇のライバルたちとの刺激的な交流の中、日本人としての油彩画の確立や西洋絵画の受容と研究などにおいても特に重要と考えられます。本展では、この時期の代表作など約130点を紹介することで宮本三郎の魅力の真髄に迫ります。



本展の章構成

- 第1章:「戦前・留学—1930年代前半—渡仏期—」
- 第2章:「戦争の時代—従軍と記録画の制作—」
- 第3章:「戦後の出発—画壇の復興とともに—」



1. (戦と女)1932年 撮影 国立西洋美術館蔵 2. (眠る)1943年 撮影 国立西洋美術館蔵 3. (神楽村の夜)1945年 撮影 石川県立小松高等学校蔵  
4. (帰郷後)1939年 撮影 石川県立美術館蔵 5. (人質狩)1956年 撮影 小松市立宮本三郎美術館蔵 6. (夜の夢)1946-53年頃 撮影 国立西洋美術館蔵  
7. (日本の四季 春)1946年 撮影 小松市立宮本三郎美術館蔵 8. (日本の四季 夏)1946年 撮影 小松市立宮本三郎美術館蔵  
9. (大坂御子)1939年 撮影 富田美術館蔵



会期中のイベント  
(宮本三郎展・小磯良平作品展)

- 小磯良平作品展選IV 講演会  
「美智子の美智子記」  
—小磯先生を正田節にお連れして—  
講師:佐伯 晋氏(元朝日新聞社役員)  
日時:10月24日(土)午後2時~3時半頃  
会場:当館2F絵画学習室にて  
定員80名 ※参加無料(要入館料)  
当日10時より受付にて整理券をお配りします。
- 特別展講演会「宮本三郎の画業をめぐって」  
講師:橋本善八氏(世田谷美術館美術課長)  
日時:11月8日(日)午後2時~3時半頃  
会場:当館2F絵画学習室にて  
定員80名 ※参加無料(要入館料)  
当日10時より受付にて整理券をお配りします。
- 特別展関連講座  
「戦争画再考—宮本三郎、小磯良平を中心に—」  
講師:廣田生馬(当館学芸員)  
日時:11月22日(日)午後2時~3時半頃  
会場:当館2F絵画学習室にて  
定員80名 ※参加無料(要入館料)。
- 特別展解説会(当館学芸員による)  
日時:毎週日曜日(11月8日、22日を除く)  
午後2時~(約30分) 場所:当館2F絵画学習室
- ロビーコンサート  
日時:12月19日(土)午後2時~  
神戸市室内合奏団による演奏。
- 美術館大作戦6  
「宮本さんと小磯さんをくらべてみる」  
日時:11月21日(土)、12月5日(土)、19日(土)  
午後1時半~4時  
小学1年~中学3年生とその家族対象  
各回20名募集。  
※詳しくは当館にお問い合わせください。
- 「家族で参加 おとうさんと一緒に楽しむ  
ギャラリートーク」  
日時:11月29日(日)、12月6日(日)、20日(日)  
午前11時~12時  
ご家族でおとうさんを誘ってご参加ください。  
※当日参加者を募ります。



神戸市立小磯記念美術館  
〒650-0001 神戸市東灘区美智子1-1-1  
交通:JR東灘線美智子駅より徒歩10分  
※美智子の地下に市営駐車場(30分100円)があります。